

# 国際バカロレア (IB) 教員資格を取得可能な大学①

## 概要

国際バカロレア教員資格 (International Baccalaureate Educator Certificates: IBEC) は、IB機構が認定し、IB認定校での教授能力があることを証明するもの。  
日本では8大学において、IBECを付与できるプログラムがIB機構から認定されている。(R7年度時点)

大学名	開始時期	コース名	学位	IBEC対象プログラム	方式
玉川大学	2014.4	IB (国際バカロレア) 研究コース	大学院	PYP/MYP/DP	対面/オンライン/ハイブリッド
岡山理科大学	2017.4	IB教員養成プログラム	学部	DP	対面
筑波大学	2017.4	教育学学位プログラム 国際教育サブプログラム	大学院	PYP/MYP/DP	対面
都留文科大学	2017.4	教養学部 国際教育学科	学部	PYP/MYP/DP	対面
関西学院大学	2019.4	国際バカロレア (IB) 教員養成プログラム	学部	DP	対面
国際基督教大学	2019.4	IB教員養成プログラム	大学院	MYP/DP	対面
東京学芸大学	2019.4	国際バカロレア教員養成特別プログラム	大学院	MYP/DP	対面
聖隷クリストファー大学	2021.9	国際バカロレア教員養成プログラム	学部/大学院	PYP	対面

※IBECプログラムを提供する大学に係る費用として、認定料 (認定時1回のみ) 及びライセンス料 (毎年) がある。

※[愛知県教育委員会](#)、[滋賀県教育委員会](#)、[奈良県教育委員会](#)、[高知県教育委員会](#)など、教員採用候補者選考審査において、IB教員資格認定者への加点や特別選考を実施する自治体もある。

# 国際バカロレア (IB) 教員資格を取得可能な大学②

大学名	認定資格と定員	受講要件	必須単位 (選択単位)	R7在籍者数 (年次累計)	左記のうち日本の 教員免許取得数 (見込み含む)	R6卒業生数 (うちIB校への 勤務数)
玉川大学	IBCTL : なし	学士号 (別に履修プログラムあり)	10	33名	19名	24名 (8)
	IBACTLR : なし		30 (10)	1名	1名	1名 (1)
岡山理科大学	IBCTL : なし	同大学在籍 学部生は2年次以上	数学/理科 : 12 グローバル : 8	144名	144名	34名 (2)
筑波大学	IBCTLと IBACTLR 合計 : 10名	大学院入学要件	30	25名	博士前期課程のため 教員免許取得は対象 外 (日本人学生の多 くは既取得)	7名 (2) ※長期履修者が いるため修了者数 は入学者数を下 回る
都留文科大学	IBCTL : 40名	高校卒業	6	194名	23名	35名 (4)
関西学院大学	IBCTL : なし	大学ウェブサイト参照	8	69名	69名	※非公表
国際基督教大学	IBCTL : なし	大学院入学 教員免許 *CTLは、学部生の受講も可 **詳細は大学ウェブサイト参照	6 (6)	11名	11名	1名 (0)
	IBACTLR : なし		6 (6)	0名	0名	0名 (0)
東京学芸大学	IBCTL : 30名	学士号 日本の教員免許	46 (6)	36名	36名	30名 (2)
聖隷クリストファー 大学	IBCTL : 35名 (学部20名、履 修証明プログラム 15名)	○学部 : 卒業時に小学校教諭一種免 許、幼稚園教諭一種免許、保育士資 格のいずれかを取得予定の学生 ○履修証明プログラム : 大学入学資格 と教員免許及び実務経験が3年以上	10	21名 (学部21名、 履修証明プロ グラム0名)	21名	7名 (0)

※国内で取得が可能な認定資格は、指導及び学習におけるIB認定 (IBCTL : IB Certificate in Teaching and Learning)、指導及び学習研究におけるIB  
上級認定 (IBACTLR : IB Advanced Certificate in Teaching and Learning Research) の2つ。

※IBACTLRを取得するには、IBプログラムでの指導経験が3年以上必要。

## 概要

IBECプログラムは、指導と学習（Teaching and Learning）及びリーダーシップ（Leadership）の資格において、それぞれ2段階のレベルを有し、合計4種類の資格を提供している。

	指導と学習の資格	指導と学習の資格 (上級)	リーダーシップの資格	リーダーシップの資格 (上級)
資格	指導及び学習における IB 認定 <i>IB Certificate in Teaching and Learning</i>	指導及び学習研究における IB 上級認定 <i>IB Advanced Certificate in Teaching and Learning Research</i>	リーダーシップ実践IB認定 <i>IB Certificate in Leadership Practice</i>	リーダーシップ実践における IB上級認定 <i>IB Advanced Certificate in Leadership Research</i>
目的	PYP、MYP、DP、CPの原則と 実践を身につける。 IBの指導法を理解し、内省的 な実践者としての資質を育む。	IB教育の経験を持つ教員が、 体系的な調査活動を通じてカリ キュラム開発・教育法・評価に関 する理解を深め、知識と実践力 をさらに高める。	IB環境でリーダーシップ を発揮する力を育てる。 IB未経験者は、IB認定校の認定 プロセスを支援できる能力を身につ け、経験者は、効果的なプログラ ムの実施や開発を通じて、学習と指 導を支援する能力を高める。	IBのリーダーシップ文脈におけ る責任や能力を理解し、自身 のリーダーシップ実践を振り返り、 リーダーとしての力と研究・分析 能力を高める。
資格登録 の条件	学士号、または同等の資格を 有すること。加えて、国が認定 する教員資格を有するか、取 得見込みであること。	修士号以上のIB認定大学院 プログラムを修了してい ること。 IBプログラムでの教育経験が最 低3年以上あること。	修士号以上のIB認定大学院 プログラムを修了してい ること。	修士号以上のIB認定大学院 プログラムを修了してい ること。

確認項目	内容
認定	教員養成やリーダー育成の大学院課程・学部課程を正規に提供する機関として、文部科学省または所管する教育委員会など、国内の教育行政機関から有効な認定・許可を受けていること。
内部審査	IB認定を申請する前に、当プログラムが <u>大学内の正式な内部審査プロセスを経ていること</u> を確認すること。
IBに関する知識	IB内容の比重が高い科目やプログラムは、 <u>IBの理解に十分な教員が指導できる具体的な計画や方法が整っていること</u> 。
実習の機会	IBCTLに関連する教員養成プログラムでは、 <u>必要な期間の実習を提供するための具体的な計画や方法が整っていること</u> 。
提携先との合意	他の組織と協力してプログラムを提供する場合、 <u>必要な契約や合意がすべて締結されていること</u> 。

## 推奨される取組

- 地域・国内・国際レベルにおける市場の特性や規模を分析する調査を実施し、その結果を踏まえて適切な学生募集を行うこと。
- IB認定の取得に伴い発生する機関及び学生の費用や経済的負担を正確に把握すること。
- 学生が真のIB教育とリーダーシップ（例：学校訪問、講演、メンタリング）に積極的に関わられるよう、地域のIBスクールコミュニティと効果的な連携関係を築くこと。
- プログラムの質を継続的に維持・向上させるため、明確で厳格な手順を確立すること。

※下記のURLよりIBEC大学認定についての最新情報収集や関心表明が可能です。

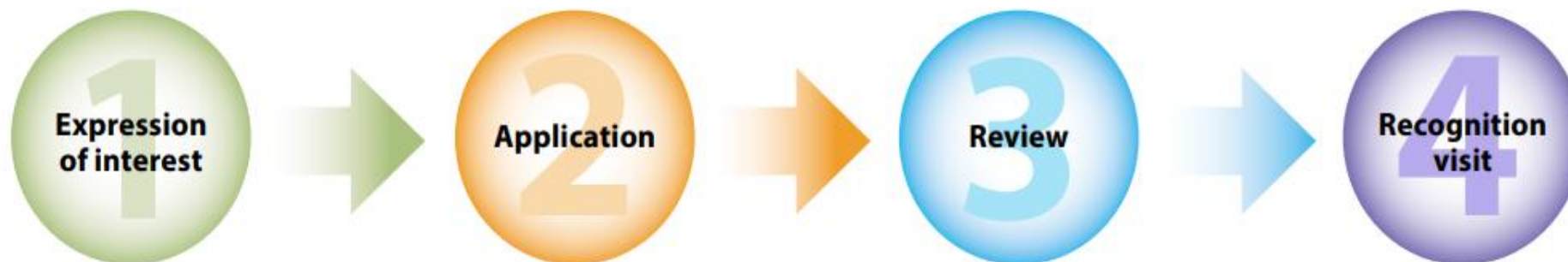
<https://ibo.org/professional-development/professional-certificates/offer-ib-educator-certificates-ibec-at-your-university/>

※オンライン方式でプログラムを設置することも可能です。

# IBECプログラム設置認定までのプロセス

## 概要

IBは大学と連携し、学習課程の整合を円滑に進めるため、継続的な相談やIBコミュニティとの連携を提供している。



### 大学

正式な関心表明を提出する。  
学習課程の簡単な説明を含める。  
関心のある証明書及びIBプログラムを  
明示する。

詳細な申請書を作成する。  
学習課程が学業要件と整合し、  
提供内容に一貫性があることを  
示す。

IBのガイドラインに基づき、学習課程と  
学業要件に整合させる。  
プロセス全体を通じてメンタリングを受け  
る。  
ibec@ibo.orgにメールを送ることでIB  
から支援を受ける。

大学の内部検証プロセスが  
全て完了次第、IB認定訪問の  
正式な要請を行う。

### IB 機構

IBは、関心のある大学に資料を  
提供し、質問に回答する。

**コンサルタント**が6～12か月間、大学  
をサポートする。

コンサルタントと事務チームが、**認定訪  
問**に向け大学を支援する。

訪問チームは「認定」または  
「条件付き認定」を推奨する。

ステップ4完了後に最終報告書が作成され、**契約が締結**される。大学はプログラムを広報し、学生の受け入れを開始できる。

### <認定後の支援>

- 認定後は、3年ごとの中間レビュー、6年ごとの更新レビューを通じて、大学との連絡を継続する。
- この期間中も、IB Global ConferenceやIBEC Conference、オンラインミーティング、メール、LinkedInグループなどを通じて、大学間やIBECチームとのネットワーキングの機会を提供する。

# IBECプログラムに係る費用 (2025年10月時点)

費目	内容	費用
認定のための審査会費用	訪問チーム（3名）による対面訪問の交通費・宿泊費	変動
認定料 (初回のみ)	認定時に支払う費用	USD 5,750
ライセンス料 (年会費)	IBの知的財産の使用及び教員やIBEC/LC候補者がプログラムリソースセンター（PRC）やその他指定されたIB教材にアクセスするための費用	USD 5,750
更新のための審査会費用	対面を希望の場合は、訪問チームの交通費・宿泊費（オンラインの場合は、追加費用なし）	変動
証明書発行料	学生が最終証明書を受け取るための費用（大学または学生負担）	USD 295

※その他、大学側で考慮すべき費用には、教員への人件費、大学教員のための研修費（◆下記参照）、広告費、プログラムの開始・運営に伴う一般的な経費などがあります。

◆認定対象大学の教員は、IB経験に応じて研修への参加が求められる。

## (IB経験の確認方法)

- 教員は、IBEC認定プロセスで履歴書の提出やIBOとの連携を通じ、IB経験を示す必要がある。

## (IB未経験教員への対応)

- IB未経験の教員には、研修の受講を推奨し、学生指導ができるよう支援する。
- IBEC教員用の研修はないため、IBOの「Leading the Learning」ワークショップや、大学が提供する資格に応じたIBプログラムの研修を受講する。
- ワークショップの費用はオンライン、バーチャル、対面形式で異なり、700～1,200米ドルとなる。